



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社プロシップ

コード番号 3763 URL <https://www.proship.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 資史

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 資史 TEL 050-1791-3000

半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無: 無

決算説明会開催の有無: 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	3,896	24.9	1,404	179.8	1,451	168.4	998	132.9
2025年3月期中間期	3,118	3.0	501	20.8	540	22.0	428	42.4

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 989百万円 (149.7%) 2025年3月期中間期 396百万円 (12.3%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	40.17	39.62
2025年3月期中間期	17.36	17.32

(注) 当社は、2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を2株に分割いたしました。「1株当たり中間純利益」及び「潜在株式調整後1株中間純利益」につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	12,447	9,433	74.9
2025年3月期	11,380	8,894	76.8

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 9,322百万円 2025年3月期 8,736百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	-	0.00	-	63.00	63.00
2026年3月期	-	0.00	-	-	-
2026年3月期（予想）	-	-	-	37.00	-

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

(注2) 2026年3月期（予想）の期末配当金の内訳は、普通配当32円00銭、記念配当5円00銭となります。

(注3) 2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を2株に分割いたしました。上記の2026年3月期（予想）については、第2四半期末は分割前、期末は分割後の金額を記載しています。なお、当該株式分割を考慮しない場合の年間配当金は74円です。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,200	8.4	2,624	13.6	2,706	11.3	1,968	1.9	79.18

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

(注2) 当社では年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（中間期）の連結業績予想の記載を省略しております。

(注3) 2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を2株に分割いたしました。上記の1株当たり当期純利益については、当該株式分割を考慮した金額を記載しています。なお、当該株式分割を考慮しない場合は、158円36銭となります。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規－社、除外－社

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	31,638,400株	2025年3月期	31,341,400株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	6,508,264株	2025年3月期	6,556,060株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	24,856,012株	2025年3月期中間期	24,695,228株

(注) 当社は、2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を2株に分割いたしました。「期中平均株式数」につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(重要な後発事象の注記)	11
3. 補足情報	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当社は、基本理念である「Speciality for Customer」のもと、高い専門性で顧客及び社会に貢献することを大切に事業を推進しております。現在は、固定資産管理ソリューションにおける専門性で、持続的な成長と企業価値の向上に取り組んでおります。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、経済社会活動の正常化が進むなか、個人消費や設備投資に支えられ、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、長期化する円安や高止まりする資源価格を背景とした物価上昇が家計マインドに影響を与えたほか、海外においては、主要国での金融引き締めの影響や一部新興国経済の回復の遅れ、緊迫化する地政学リスクなど、依然として先行きは不透明な状況が続きました。

情報サービス産業においては、このようなマクロ環境下での企業の競争力強化や業務効率化のニーズを背景に、DXの推進やAIの活用によるデジタル投資の需要が継続しました。加えて、サステナビリティ経営の推進やIFRS(国際会計基準)への対応といった新たな経営課題への取り組みも活発化し、これらを支援するソフトウェア投資は引き続き堅調に推移しました。

このような状況下で当社グループは、主力である固定資産管理ソリューションにおいて、既存顧客に対するバージョンアップ対応、成長戦略と位置付けているインフラ業界における案件を推進し、大企業や中堅企業の業務効率化、経営管理強化等に資するソリューションを展開し、顧客のシステム投資需要に応じてまいりました。

その結果、当中間連結会計期間においては、売上高3,896百万円(前年同期比24.9%増)、営業利益1,404百万円(同179.8%増)、経常利益1,451百万円(同168.4%増)、親会社株主に帰属する中間純利益998百万円(同132.9%増)となりました。

なお、新リース会計基準対応に関する需要は、今後本格化する見通しです。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

①パッケージソリューション事業

パッケージソリューション事業では、主力である固定資産管理ソリューションにおいて、既存顧客に対するバージョンアップ対応、成長戦略と位置付けているインフラ業界における案件を推進いたしました。全体的な案件の大型化、要員一人当たりの高い案件密度という状況を維持継続できたことにより売上高が増加するとともに、全社的な品質管理の強化及び付加価値生産性向上の取り組みにより売上原価を抑制いたしました。

また、未来の稼ぐ力となる人財と製品開発への積極的な投資を行いながらも、販売費及び一般管理費全体の増加を抑制いたしました。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は3,822百万円(前年同期比25.0%増)、営業利益は1,387百万円(同180.5%増)となりました。

②その他事業

その他事業では、主にソフトウェア製品の仕入販売及び運用管理等を行ってまいりました。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は88百万円(前年同期比10.0%増)、営業利益は16百万円(同158.4%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産・負債・純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は10,411百万円となり、前連結会計年度末に比べ671百万円増加いたしました。これは主に、売掛金及び契約資産が668百万円減少したものの、現金及び預金が1,388百万円、仕掛品が16百万円増加したことによるものであります。固定資産は2,035百万円となり、前連結会計年度末に比べ396百万円増加いたしました。これは主に、ソフトウェアが268百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は12,447百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,067百万円増加いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は2,563百万円となり、前連結会計年度末に比べ518百万円増加いたしました。これは主に、未払法人税等が61百万円減少したものの、契約負債が630百万円増加したことによるものであります。また固定負債は451百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は3,014百万円となり、前連結会計年度末に比べ529百万円増加いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は9,433百万円となり、前連結会計年度末に比べ538百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益998百万円、配当金の支払780百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は74.9%(前連結会計年度末は76.8%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は4,349百万円となり、前連結会計年度末に比べ888百万円増加いたしました。当中間連結会計期間の各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、2,288百万円(前年同期は1,445百万円の増加)となりました。これは主に、売上債権の減少668百万円、税金等調整前中間純利益1,431百万円の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、884百万円(前年同期は125百万円の減少)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出500百万円、無形固定資産の取得による支出353百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、516百万円(前年同期は529百万円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払額780百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社では、前連結会計年度末時点で見込んでいる当連結会計年度の売上計上予定の案件を商談の進捗度別に集計・精査して売上高見込とし、予定している投資や過年度の費用発生の推移等から当連結会計年度の費用を見込むことで連結業績予想を作成しております。

当社は、新リース会計基準対応や生産性向上、ガバナンス強化への取り組み等を背景としたシステム投資需要に对应していくため、前期に引き続き既存顧客に対するバージョンアップ対応、インフラ業界を中心とした新規顧客開拓に向けた営業活動強化等を行ってまいります。

2026年3月期通期の業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2025年5月9日公表の通期業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2025年11月14日)公表いたしました「2026年3月期(第57期)通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正(5,500社導入記念配当の実施)」に関するお知らせをご覧ください。

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当

当社は、2025年7月10日に公表したとおり、2026年3月期より、配当方針を以下のように変更しております。想定より早期に稼ぐ力を向上させることができたことにより、一定の配当水準に到達できたことから、今後は将来の稼ぐ力に積極的に投資をすることで、長期利益の増大を図り、株主の皆様への長期安定的な利益還元を行ってまいります。

(変更前)

当社は、持続的成長のための先行投資を推進し、収益力および資本効率の向上を図るとともに、配当性向40%以上を継続することに加えて、累進配当を継続して実施することで、株主の皆様への積極的な利益還元に取り組む方針であります。

(変更後)

当社は、持続的成長のための先行投資を推進し、収益力および資本効率の向上を図るとともに、累進配当を継続して実施することで、株主の皆様への積極的な利益還元に取り組む方針であります。

なお、本日(2025年11月14日)公表いたしました「2026年3月期(第57期)通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正(5,500社導入記念配当の実施)」のとおり、当期の配当につきましては、普通配当32円に記念配当5円を加えた、1株当たり年間37円(2025年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合をもって分割した後の金額)を予定しております。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,460,655	7,849,572
売掛金及び契約資産	2,347,196	1,678,339
有価証券	714,725	652,954
仕掛品	91,850	107,932
貯蔵品	4,708	821
その他	121,485	122,250
流動資産合計	9,740,621	10,411,871
固定資産		
有形固定資産	50,859	62,236
無形固定資産		
ソフトウェア	462,737	730,762
その他	1,067	1,067
無形固定資産合計	463,805	731,830
投資その他の資産		
投資有価証券	584,581	662,112
その他	540,753	580,356
貸倒引当金	△545	△545
投資その他の資産合計	1,124,789	1,241,923
固定資産合計	1,639,454	2,035,990
資産合計	11,380,076	12,447,862

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	233,921	177,699
契約負債	747,710	1,377,783
未払法人税等	522,334	461,193
賞与引当金	96,607	234,130
役員賞与引当金	33,950	23,640
受注損失引当金	—	10,153
その他	410,027	278,785
流動負債合計	2,044,550	2,563,386
固定負債		
退職給付に係る負債	441,077	451,350
固定負債合計	441,077	451,350
負債合計	2,485,628	3,014,736
純資産の部		
株主資本		
資本金	770,578	924,573
資本剰余金	759,889	944,942
利益剰余金	12,437,906	12,655,595
自己株式	△5,290,335	△5,251,783
株主資本合計	8,678,039	9,273,327
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58,482	49,190
その他の包括利益累計額合計	58,482	49,190
新株予約権	157,927	110,607
純資産合計	8,894,448	9,433,125
負債純資産合計	11,380,076	12,447,862

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	3,118,911	3,896,128
売上原価	1,568,011	1,624,119
売上総利益	1,550,900	2,272,009
販売費及び一般管理費	1,048,908	867,465
営業利益	501,992	1,404,543
営業外収益		
受取利息	20,433	27,364
受取配当金	3,034	1,114
為替差益	189	560
投資有価証券売却益	17,618	—
有価証券償還益	—	15,766
その他	1,287	1,709
営業外収益合計	42,563	46,514
営業外費用		
雑損失	—	0
保険解約損	3,900	—
営業外費用合計	3,900	0
経常利益	540,655	1,451,058
特別利益		
新株予約権戻入益	81,093	3,809
特別利益合計	81,093	3,809
特別損失		
ソフトウェア除却損	—	23,494
特別損失合計	—	23,494
税金等調整前中間純利益	621,748	1,431,372
法人税等	193,017	432,945
中間純利益	428,731	998,427
親会社株主に帰属する中間純利益	428,731	998,427

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	428,731	998,427
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32,576	△9,291
その他の包括利益合計	△32,576	△9,291
中間包括利益	396,155	989,135
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	396,155	989,135

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	621,748	1,431,372
減価償却費	47,625	89,235
賞与引当金の増減額(△は減少)	133,008	137,523
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△9,404	△10,310
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,875	10,273
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△5,729	10,153
株式報酬費用	—	8,351
受取利息及び受取配当金	△23,467	△28,478
為替差損益(△は益)	△286	△565
投資有価証券売却損益(△は益)	△17,618	—
有価証券償還損益(△は益)	—	△15,766
新株予約権戻入益	△81,093	△3,809
ソフトウェア除却損	—	23,494
売上債権の増減額(△は増加)	711,445	668,856
棚卸資産の増減額(△は増加)	△10,370	△12,195
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,850	△27,184
契約負債の増減額(△は減少)	503,032	630,073
その他	△208,410	△158,317
小計	1,653,499	2,752,708
利息及び配当金の受取額	24,409	25,794
法人税等の支払額	△232,270	△489,630
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,445,638	2,288,871
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△500,000
有価証券の取得による支出	△20,937	△14,200
有価証券の償還による収入	—	73,574
投資有価証券の取得による支出	△74,259	△73,582
投資有価証券の売却による収入	78,579	—
有形固定資産の取得による支出	△4,144	△25,034
無形固定資産の取得による支出	△104,589	△353,543
敷金及び保証金の差入による支出	△1,714	△9,605
敷金及び保証金の回収による収入	—	18,321
保険積立金の解約による収入	1,196	1
その他	—	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△125,868	△884,072
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	83,023	264,330
自己株式の取得による支出	△44	△103
配当金の支払額	△612,226	△780,674
財務活動によるキャッシュ・フロー	△529,247	△516,447
現金及び現金同等物に係る換算差額	286	565
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	790,808	888,916
現金及び現金同等物の期首残高	2,834,005	3,460,655
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,624,814	4,349,572

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当中間連結会計期間においてストック・オプションの権利行使による払込み等により、資本金が153,994千円、資本剰余金が185,052千円増加しました。この結果、当中間連結会計期間末において資本金が924,573千円、資本剰余金が944,942千円となっております。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は「法人税等」に含めて表示しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間(自2024年4月1日至2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		調整額 (注) 1	中間連結損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ ソリューション事業	その他事業		
売上高				
外部顧客への売上高	3,058,000	60,911	—	3,118,911
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	19,675	△19,675	—
計	3,058,000	80,586	△19,675	3,118,911
セグメント利益	494,566	6,362	1,063	501,992

(注) 1. セグメント利益の調整額1,063千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自2025年4月1日至2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		調整額 (注) 1	中間連結損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ ソリューション事業	その他事業		
売上高				
外部顧客への売上高	3,822,932	73,196	—	3,896,128
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	15,472	△15,472	—
計	3,822,932	88,668	△15,472	3,896,128
セグメント利益	1,387,041	16,439	1,063	1,404,543

(注) 1. セグメント利益の調整額1,063千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象の注記)

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2025年7月10日開催の取締役会決議に基づき、2025年10月1日付で株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行っております。

1. 株式分割の目的

投資単位当たりの金額を引き下げることにより、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大と当社株式の流動性の向上を図ることを目的といたします。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

2025年9月30日(火)を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式1株につき、2株の割合をもって分割いたしました。

(2) 分割により増加した株式数

株式分割前の発行済株式総数 : 15,819,200 株
 今回の分割により増加する株式数 : 15,819,200 株
 株式分割後の発行済株式総数 : 31,638,400 株
 株式分割後の発行可能株式総数 : 119,000,000 株

(3) 分割の日程

基準日公告日 : 2025年9月12日(金)
 基準日 : 2025年9月30日(火)
 効力発生日 : 2025年10月1日(水)

(4) 1株当たり情報に及ぼす影響

1株当たり情報に及ぼす影響につきましては、当該箇所に記載しております。

3. 新株予約権行使価額の調整

本件株式分割に伴い、当社発行の新株予約権の1株当たりの行使価額を、2025年10月1日以降、以下の通り調整しました。

新株予約権の名称	調整後行使価額	調整前行使価額
第9回新株予約権	890円	1,780円

4. 定款の一部変更

(1) 変更の理由

上記株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づく取締役会決議により、2025年10月1日(水)をもって当社定款の一部を変更しました。

(2) 定款変更の内容

変更の内容は、以下のとおりであります。(下線部分は変更箇所となります。)

変更前定款	変更後定款
第6条(発行可能株式総数) 当社の発行可能株式総数は、5952万株とする。	第6条(発行可能株式総数) 当社の発行可能株式総数は、 <u>119,000,000株</u> とする。

(3) 日程

定款変更の効力発生日 : 2025年10月1日(水)

3. 補足情報

受注及び販売の状況

①受注実績

当中間連結会計期間の受注状況を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)			
	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
パッケージ	2,394,316	1.9	2,839,207	5.3
保守	1,277,373	34.0	2,873,323	10.7
運用管理等	65,140	10.1	53,544	16.5
合計	3,736,831	11.1	5,766,075	8.0

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. パッケージには、ユーザー固有のカスタマイズを伴わないパッケージライセンスに係る受注も含んでおります。

3. 運用管理等には、商品受注を含んでおります。

②販売実績

当中間連結会計期間の販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	
	売上高(千円)	前年同期比(%)
パッケージ	2,690,089	36.0
保守	1,132,842	4.9
運用管理等	73,196	20.2
合計	3,896,128	24.9

(注) 1. パッケージには、ユーザー固有のカスタマイズを伴わないパッケージライセンスに係る売上も含んでおります。

2. 運用管理等には、商品売上を含んでおります。